A FILM BY THE QUAY BROTHERS

THE PIANO TUNER OF EARTHQUAKES

Mediapolis Medienentwicklungs GmbH, UK Film Council, Medienboard Berlin-Brandenburg GmbH Present A Co-Production with ARTE France Cinéma and
ZDF/ARTE in association with Berlin House Productions GmbH, Filmförderung Hamburg GmbH, Ingenious Films Ltd, Media (2), Tohokushinsha Film Corporation and Vox, Pathéri Pictures
A Kinowick Studios Pte. Mediapolis Film und Fernsehproduktion and Lunaxi Films Production
A Film by the Quay Brothers Amira Casar, Gottfried John, Assumpta Serna and Cesar Sarachu "The Piano Tuner of Earthquakes"
Executive Producer Terry Gilliam Executive Producer for the UK Film Council Paul Trijbits Director of Photography Nic Knowland BSC Editor Simon Laurie Scenario Alan Passes & Quay Brothers
Music Trevor Duncan & Christopher Slaski Associate Producer Michael Becker Produced by Keith Griffiths Alexander Ris Jörg Ruthe Hengameh Pamir
Direction Design Animation by the Quay Brothers A German-UK-French Co-Production made under the European Convention
Made with the support of the National Lottery through the UK Film Council's New Cinema Fund World Sales Celluloid Dreams
© 2006 Kinowick Studios PTE Ltd., Lunaxi Films, Mediapolis Film- und Fernsehproduktion GmbH Leipzig, UK Film Council, Arte France Cinema
© Kinowick Studios Ltd.1985 Courtesy of BFI © Kinowick Studios Ltd.1990 © Channel Four Television 1990

第58回ロカルノ国際映画祭
審査員特別賞、
青年審査員賞W受賞

テリー・ギリアム製作総指揮

ピアノチューナー・オブ・アースクエイク

＋公開記念クエイ映画祭『ブラザーズ・クエイの幻想博物館』

イギリスの天才映像作家ブラザーズ・クエイの
最新作公開記念
デビュー作から一挙大公開

協力：ダゲレオ出版　後援：ブリティッシュ・カウンシル
宣伝：Lem　配給：東北新社　TEC
www.quay-piano.jp

終わりのない旋律…

テリー・ギリアム製作総指揮
ブラザーズ・クエイ監督最新作
『ピアノチューナー・オブ・アースクエイク』

INTRODUCTION

『ストリート・オブ・クロコダイル』(86)が日本のアート・アニメーション・ブームの先駆けとなる大ヒット上映を記録して20年。ヤン・シュヴァンクマイエルを日本に紹介しブームの火付け役となった双子の異才クリエーター、ブラザーズ・クエイ。彼らの大ファンと公言している鬼才テリー・ギリアムを製作総指揮に迎え、ついに最新作『ピアノチューナー・オブ・アースクエイク』を完成させた。

『ピアノチューナー・オブ・アースクエイク』とは?

作品の原案となったのは、幻想文学の巨匠ボルヘスが「完璧な小説」と呼んだ、カサーレスの「モレルの発明」(水声社刊)、そしてルーセルの「ロクス・ソルス」(平凡社刊)。美しい歌姫マルヴィーナの声に魅せられた天才科学者ドロスは、彼女を誘拐して、自らが発明した奇妙な演奏機械人形のコレクションに加え、それによって破壊的なオペラ演奏会を行おうと企てていた。演奏機械人形の調整のために呼ばれたピアノ調律師フェリスベルトは、その恐ろしい計画に気付き、マルヴィーナを助けようと試みる。クエイ兄弟の真骨頂である独自のアニメーションと実写が融合し、絵画のように美しい狂気がスクリーンに咲き乱れる。

出演:アミラ・カサール「シルヴィア」、ゴットフリード・ジョン「ブルーフ・オブ・ライフ」
2005年/35mm/イギリス・ドイツ・フランス/99分/ドルビー SRD/シネスコ/原題:The Pianotuner of Earthquake

クエイ回顧展『ブラザーズ・クエイの幻想博物館』

最新作の公開を記念して、ブラザーズ・クエイ監督作品をデビュー作から日本劇場未公開作品まで一挙大公開―― 禁断の映像体験!

【上映予定作品】

『人工の夜景』
NOCTURNA ARTIFICIALA
1979年/16mm/イギリス/カラー/20分
処女作。地下室の男は窓から外を覗き、夜の街への妄想を深く沈潜させていく。<人形アニメ>に世界が注目するきっかけとなった伝説の作品。

『ストラヴィンスキー:パリでの日々』
STRAVINSKY: THE PARIS YEARS
1983年/16mm/イギリス/カラー/25分
ロシアの大作曲家ストラヴィンスキーのパリ、ダダ時代(1920~23)を描く。ストラヴィンスキーが自動ピアノのための曲を作っている。そこにロシアの未来派詩人マヤコフスキーとジャン・コクトーが訪れ、3人はパリの町へ繰りだす。

『レオシュ・ヤナーチェク』
LEOS JANACEK : INTIMATE EXCURSIONS
1983年/16mm/イギリス/カラー/27分
19世紀のチェコの音楽家レオシュ・ヤナーチェクの人生と彼の歌劇のストーリーが迷路のように交差する。

『ヤン・シュヴァンクマイエルの部屋』
THE CABINET OF JAN SVANKMAJER-PRAGUE'S ALCHEMIST OF FILM
1984年/16mm/イギリス/カラー/14分
チェコの人形アニメ作家シュヴァンクマイエルが弟子(クエイ)に知識と技術を伝授する。シュヴァンクマイエルらしき人物が、アルチンボルド風(16世紀のミラノ出身でチェコの宮廷画家)の造形になっている。

『ギルガメッシュ/小さなほうき』
LITTLE SONG OF THE CHIEF OF HUNAR LOUSE OR THIS UNNAMEABLE LITTLE BROOM
1985年/16mm/イギリス/カラー/11分
古代の暴君ギルガメッシュを、クエイ兄弟流に解釈した作品。三輪車を乗り回し怪物エンキドゥを喜々として追いまわす不思議なお伽話。

『ストリート・オブ・クロコダイル』
STREET OF CROCODILES
1986年/35mm/イギリス/カラー/22分
踊るネジ、内臓を持つ時計、『アンダルシアの犬』を思わせる斜め縞の箱、モノトーンの不意に色彩が飛び出す仕立屋などが次々に登場し、新しい視覚領域へと到達した。原作はポーランドのカフカと呼ばれるブルーノ・シュルツ『大鰐通り』(平凡社刊)。

『失われた解剖模型のリハーサル』
REHEARSALS FOR EXTINCT ANATOMIES
1987年/35mm/イギリス/モノクロ/14分
『ストリート・オブ・クロコダイル』のラストを引き継ぐようにして始まる。拒食症のようなアルチンボルド風の人形が頭髪を弦音とともに引きちぎるだけで世界を震撼させているこの作品は、フラゴナールの絵画「閂(かんぬき)」からヒントを得た。

『櫛』
THE COMB
1990年/35mm/イギリス/カラー/17分
カフカに影響を与えた作家、ローベルト・ヴァルザーの小説にインスパイア。眠れる美女が、或る寝苦しい夜みた夢の中で、無意識の層をパペット人形が幾重にも梯子を掛けて外を窺う。女が目覚め、櫛で髪を梳くと、眠れる美術館は再び闇へと遠ってい く。"櫛"のモチーフはシュヴァンクマイエルの「庭園」(1968)のラストシーンの引用とも見える。

『アナモルフォーシス』
ANAMORHOSIS
1991年/16mm/イギリス/カラー/15分
ルネッサンス期に開発された絵画の技法アナモルフォーシス。16世紀のだまし絵を人形たちが研究する。

『スティル・ナハト3』
STILL NACHT 3
1992年/35mm/イギリス/モノクロ/4分
「ヒズ・ネイム・イズ・アライブ」のミュージック・クリップとして作られたシリーズ作品。

『ベンヤメンタ学院』
INSTITUTE BENJAMENTA
1995年/35mm/イギリス・ドイツ・日本/モノクロ/105分
初の実写映画。スイスの異端の作家ヴァルザーの小説「ヤーコプ・フォン・グンテン」と彼の「白雪姫」「シンデレラ」のリメイクにインスパイアされた作品。

『デュエット』
DUET: Variations on the Convalescence of "A"
1999年/DVcam/イギリス/カラー/15分
ロイヤルバレエ団のダンサー・振付家のウイル・タケットのバレエを演出。

『サンドマン』
THE SANDMAN
2000年/DVcam/イギリス/カラー/41分
イギリスの人気コンテンポラリー・ダンサー、アダム・クーパーとのダンス作品。

『イン・アブセンティア』
IN ABSENTIA
2000年/35mm/イギリス/カラー/20分
現代音楽作曲家シュトックハウゼンとの共同作品。ある療養所にいた女性についての実話をベースにクエイ兄弟的にアレンジ。

『ソングス・フォー・デッド・チルドレン』
SONGS FOR DEAD CHILDREN
2003年/DVcam/イギリス/20分
テートモダン企画協力作品

『ファントム・ミュージアム』
THE FANTOM MUSEUM
2003年/DVcam/イギリス/カラー/12分
サー・ヘンリー・ウエルカム氏の秘宝的医学コレクションを亡霊が華麗な手つきで案内してくれる。

※劇場により上映作品・上映日時が異なります。下記上映スケジュールを予めご確認下さい。上映はオリジナルフォーマットと異なる場合がございます。

協力:ダゲレオ出版　後援:ブリティッシュ・カウンシル　宣伝:Lem　デザイン:thumb M　配給:東北新社 TFC

www.quay-piano.jp

『ブラザーズ・クエイの幻想博物館』

上映期間:10月4日(土)~10月17日(金)

『ピアノチューナー・オブ・アースクエイク+ブラザーズ・クエイの幻想博物館』セット券〈6回券〉
発売中　¥6,500(税込)

各プログラムの上映スケジュール	10/4(土)~8(水)	10/9(木)~12(日)	10/13(月)~17(金)
11:00	A	C	E
13:30	B	E	B
16:00	C	A	D
18:30	E	B	C

当日一般1,500円/学生1,200円/小・中・高・シニア・会員1,000円　※表示料金は全て税込

【上映プログラム】

プログラムA(66分)
≪アルケミストたちの形而上的遊び部屋≫
『ストラヴィンスキー:パリでの日々』
『レオシュ・ヤナーチェク』
『ヤン・シュヴァンクマイエルの部屋』

プログラムB(68分)
≪書物のカフカ的迷宮≫
『ギルガメッシュ/小さなほうき』
『失われた解剖模型のリハーサル』
『櫛』
『スティル・ナハト3』
『ストリート・オブ・クロコダイル』

プログラムC(67分)
≪夢遊病者のための回廊≫
『人工の夜景』
『アナモルフォーシス』
『ファントム・ミュージアム』
『イン・アブセンティア』

プログラムD(105分)
≪執事養成室≫
『ベンヤメンタ学院』

プログラムE(76分)
≪ダンスマカブル劇場≫
『デュエット』
『サンドマン』
『ソングス・フォー・デッド・チルドレン』

『ピアノチューナー・オブ・アースクエイク』

上映期間:10月18日(土)~

特別鑑賞券 発売中　¥1,500(税込)

上映時間(連日)	11:30	14:00	16:30	19:00

当日一般1,800円/学生1,500円/小・中・高・シニア・会員1,000円　※表示料金は全て税込

★劇場窓口にて「ブラザーズ・クエイの幻想博物館」セット券、または「ピアノチューナー・オブ・アースクエイク」特別鑑賞券をお買い求めの方にポストカードをプレゼント!(先着限定)

[シアター]
イメージフォーラム
自由席・定員入替制/整理券制　03-5766-0114
渋谷駅より徒歩8分、宮益坂上り先右手入る